

関 済 協

関西済州道民協会 会報

第11号

2006年11月20日発行



【主な内容】

- ◎ 第13回総会
- ◎ 関西・関東済州道民協会が懇親会
- ◎ 済州特別自治道出帆・国際自由都市プロジェクト
- ◎ 会長団座談会「魅力ある関済協」



会旗の説明

関西濟州道民協會の会旗
(写真)は創立總會の席上、
濟州道知事より贈呈されたも
のです。

会旗の円は太陽、統合、和
合を表し、三太極は三多
(石・風・女)、三無(泥
棒・乞食・大門)、三清(澄
んだ水・澄んだ空気・澄んだ
人心)を表しています。また
四隅は四団体の合心、すなわ
ち統合を意味しています。

図案制作者は濟州大学美術
学科教授の文基善氏。同氏は
一九三五年に濟州市で生ま
れ、六〇年ソウル大学校美術
大学卒業、六五年濟州道旗圖
案、八〇年濟州道文化賞受
賞、八四年第一三回全国少年
体典聖火台製作、八八年ソウ
ルオリンピック寄贈聖火台製
作等々、斯界の第一人者で
す。

◇題字「関済協」は故康忠男名誉会長の直筆です。

◇表紙の写真は濟州道のシンボル漢拏山です。



一人でも多くの会員が郷土 濟州道を訪問すれば經濟發展 に貢献するとの思いで訪問

関西濟州道民協会

会長 朴國男

道民会、親睦会、經濟人協会、青年会の濟州四団体が統合して新たに關濟協が生まれ、今年で一三周年になりますが、去る一月の定期総会で、会長に再選され、向後二年間の關濟協の舵取りをまかされることになりました。

二〇〇六年は「濟州訪問の年」であります。郷土の發展は、私たち濟州道民が常に心に抱く願いであります。そこで、關濟協として、一人でも多くの道民が郷土を訪問しようとの愛情から、体育祭典や耽羅文化祭などに参加しました。

郷土を訪問すれば、それ相応の觀光があり、買い物があります。そうした訪問が郷土濟州道の經濟發展に少しでも役立つていくことが、私たちの変わらぬ願いであります。それがまた、關濟協に対する内外の熱い期待であるとう認識しております。

回顧すれば、關濟協は、統合一〇周年を記念して一七五人が、チャーター便をしつらえ、濟州道を訪問したのは二〇〇四年のことでありました。

一〇月一日から三日までの二泊三日の日程で、ラマダプラザホテルに投宿し、中文觀光団地内の濟州國際コンベンションセンターでの記念植樹、濟州道を代表する人士を招いての晩餐会、第四三回耽羅文化祭に参加するなど多様なイベントを消化しました。

そして、「郷土に貢献するためにお金を使おう」と呼びかけました。一人二〇〇万ウォンを消費すると三億五〇〇〇万ウォンになり、濟州道の經濟をかなり潤すことになると思います。

一方、過去に文書で要望するなど、長年の懸案でありました東京の「在日本濟州道民協会」の改称問題は、円満に話し合いを行い、東京側の誠意ある対応により、「關東濟州道民協会」という名称になりました。

これにより、東京の道民協会があたかも全国を代表し、關濟協は關西の一支部であるかのご

とき誤解が解消されることになり、その改称問題が解決したことは、まことに慶賀に堪えませぬ。皆さまのご支援ご鞭撻に厚く感謝申し上げます。

今後は、關東道民協会と、より親密な交流を図りつつ、郷土濟州道の發展と兩道民協会の發

展に一緒に手を携えて力強く前進していきたいと思えます。

最後に、会員の親睦の和を第一の目標としながら、皆さまのご指導ご支援のもと、より一層の組織強化を図りたいと思えます。



關濟協の向後2年間を担う新役員



定期総会を開催 新年会・成人式も

〔第一三回定期総会〕
関濟協の第一三回（二〇〇六年度）定期総会が一月一五日（日）、大阪市北区の帝国ホテル

で開かれた。国民儀礼の後、朴國男会長が挨拶し、続いて議長に就任して総会成立宣言を行った。

会員三五〇名が出席、書記に李永哲専務理事を指名、任京賢総務部長の司会のもと、議案を審議した。

①総括報告（高英寛総務副会長）、②財政報告（吳基博財政副会長）・監査報告（韓健三監事）、③新年度事業計画案（朴信平事業副会長）、④新年度予算案（吳基博財政副会長）などが満場一致で承認、可決された。

つづいて、役員改選が行われた。役員総辞職ののち、新会長に朴國男会長が推薦され、異議なく満場一致で再選された。監事選出では、金永柱、韓健三、洪佳佑の三氏が推薦され、異議なく満場一致で選出された。

最後に吳基博財政副会長が閉会辞を述べ、総会は滞りなく終了した。

〔新年宴会・成人式〕
席を移して、康忠成厚生副会長の司会のもと、新年会と成人式祝賀会を開催された。国民儀礼ののち、物故した梁斗京常任

顧問、康柄彩（谷山）会員、高基彦（高山）会員、安昌洪（安田）会員、梁裕安（吉川）会員、元東石（木村）会員の冥福を祈り黙祷した。席上、第三代会長であった梁斗京常任顧問が昨年十二月、濟州文化賞を贈られたことが紹介された。

新役員が紹介され、挨拶に立った朴國男会長は「郷土濟州道は、いま国際自由都市をめざし、飛躍しつつある。今年は濟州訪問の年。私たちが率先して例年の二倍濟州島に行こう。故郷の発展こそが私たちが在日濟州人の地位の向上に結びつく」と述べた。

来賓祝辞と来賓紹介があり、金泰煥知事は「今年は濟州訪問の年であり、日本人観光客と在日同胞の濟州道訪問を大いに期待する」と述べた。

ほかに、鄭華泰駐大阪大韓民
国総領事館総領事、梁宇喆濟州道議會議長、高忠錫濟州道議會議長、金榮訓濟州市長、金榮訓濟州市長、姜相周西帰浦市長、宋暢禹在外濟州道民総連合會會長が来賓祝辞を述べた。

二〇〇五年度濟州道文化賞、海外同胞部門受賞した人に、道知事より授与された。つづい



総会に参加した役員・会員

祝辞を述べる金泰煥濟州道知事



て、新成人五名が紹介され、朴國男会長らから記念品が贈呈された。また、朴國男会長が「こころの家族故郷の家」に福祉誠金を伝達した。

第三部の新年祝宴では、韓国民団大阪府本部の金昌植団長が乾杯の音頭をとり、アトラクションでは、濟州道立民俗芸術団三〇名による公演が行われた。濟州舞踊の海女踊や水壺踊などを楽しみながら、和やかに談笑した。最後に高英寛総務副会長が閉会辞を述べ、新年会、成人式も滞りなく終了した。

※濟州道立芸術団歓迎会が二〇〇六年一月一四日、上六南海飯店で行われた。

新成人

- 〔来賓〕
- ①駐大阪大韓民国総領事館鄭華泰総領事・崔然卿女士
 - ②濟州道知事金泰煥知事・康京仙女士
 - ③国際自由都市観光局長金亨受ほか
 - ④濟州道議会梁宇喆議長・金美淑女士ほか
 - ⑤濟州大学校高忠錫総長ほか
 - ⑥濟州市金栄訓市長ほか
 - ⑦西帰浦市姜相周市長ほか
 - ⑧北濟州郡玄漢洙郡守権限代行ほか
 - ⑨南濟州郡康起権郡守ほか
 - ⑩在日本大韓国民団中央本部議長代行趙南富
 - ⑪在日本大韓国民団大阪地方本部団長金昌植
 - ⑫在日本大韓国民団大阪地方本部議長李龍權
 - ⑬在外濟州道民会総連合会宋暢禹会長、金行義副会長、高文学副会長、呉鏞守副会長
 - ⑭ソウル濟州道民会全秉敦諮問委員、在日関東濟州道民協会常任顧問呉賛益、濟州EOMY趙孟洙社長、濟州国際コンベンションセンター金鐘熙
 - ⑮濟州銀行金国柱銀行長、新韓銀行濟州支店李元浩支店長、ラマダホテル兪春（木棋）副社長、濟州パレスホテル李成王班専務理事、大韓航空大阪支店権炳燮支店長
 - ⑯濟州産業情報大学校金昌植教授、濟州道名誉道民笠井康弘氏、新韓銀行大阪支店長林永鎮支店長、社会福祉法人こころの家 族尹基理事長
 - ①高全一（高藤全一）高敬弼氏 二男 帝塚山大学二年
 - ②李智華（宮本智華）李元徹氏 次女 神戸松蔭女子学院大学二年
 - ③梁真吾（梁本真吾）梁泰幸氏 長男（大阪市立大学二年）
 - ④朴麻美（新井麻美）朴泰男氏 長女（関西女子短期大学二年）
 - ⑤洪晶子（徳山晶子）洪範晴氏 長女（大阪市立大学二年）

新年会参席の来賓

金泰煥知事を囲んでの記念撮影



理事会

〔第一回理事会〕

二〇〇六年度の第一回理事会が四月二一日、大阪市天王寺区の南海飯店で開催され(写真)、理事九六名中、七五名(本人出席四七名、委任状二八名)が出席した。任京實総務部長の司会

のもと、事業計画(朴信平事業副会長)、予算案(吳基博財政副会長)等を再確認した。

議案審議を終え、朴晶禧企画副会長が閉会辞を述べて、理事会は滞りなく終了した。つづいて、懇親会に移り、高昌照常任顧問が乾杯の音頭をとり、なごやかに歓談した。
なお、高英寛監査役より、(株)

〔第二回理事会〕

二〇〇五年度第二回理事会が二月一六日、大阪市天王寺区の百楽で行われた。経過報告等が行われたあと、年末懇親会が和やかに開かれ、それぞれに一年を振り返った。

関済協の決算報告が行われた。



関東道民協会と懇親会

「在日本济州道民協会」が「関東济州道民協会」に名称変更し



伊東温泉で開かれた懇親会

济州道で開かれた懇親会



たのに伴い、関西・関東道民協会の初の役員懇親会が二〇〇五年一月三、四の両日、静岡県伊東温泉で開かれた。準備は当協会が担当した。
三日は、ホテルニュー岡部に

投宿、入浴後、リラックスした雰囲気の中で名刺交換し、なごやかに歓談、カラオケなども楽しんだ。
四日は、中伊豆グリーンゴルフ場で、ゴルフを楽しんだ。終了後、熱海駅で解散した。
続いて、二〇〇六年八月八、九の両日、第二回関西・関東济州道民協会の役員懇親会が济州道のラマダプラザ济州ホテル

故康忠男名誉会長

お別れの会



[略歴]

- 1926年5月出生
- 1948年3月旧大阪専門学校卒業
- 1948年4月大洋化学工業株式会社入社
- 1953年11月富士電線工業設立
- 1955年2月富士電線工業株式会社創立
- 2001年2月代表取締役会長に就任

[主な団体役職]

- 1978年5月西日本電線工業協同組合常任理事就任
- 1982年5月社団法人日本電線工業会理事就任
- 1984年6月大阪府品質管理推進協議会理事就任
- 1987年10月西日本電線工業厚生年金基金理事就任
- 1989年5月大阪府化成工業協同組合副理事長就任
- 1993年10月電線工業健康保険組合理事就任

[主な表彰]

- 1987年5月大阪府知事表彰（産業功労）
- 1990年4月大阪府知事表彰（品質管理推進協議会役員功績）

濟州四団体統合の関済協の初代会長として関済協ビルの購入など偉大な貢献をした康忠男名誉会長が病氣療養中であつたが、葉石の効なく二〇〇六年七月逝去した。享年八一歳であつた。

お別れ会が、富士電線工業株式会社の社葬で、八月二十八日（月）午前一一時三〇分〜午後一時、リーガロイヤルホテルタマイります。

「誠実」を信条とし、コツコツと堅実に歩んでまいりました姿勢が経営の基本理念でありました。謙虚に学び、「夢とロマンのある会社」をめざして、先見性に秀でた経営者でありました。痛恨の極みではありませんが、故人の遺志を引き継ぎ、今後とも社業の発展に総力を結集してまいります。

濟州四団体統合の関済協の初代会長として関済協ビルの購入など偉大な貢献をした康忠男名誉会長が病氣療養中であつたが、葉石の効なく二〇〇六年七月逝去した。享年八一歳であつた。

「誠実」を信条とし、コツコツと堅実に歩んでまいりました姿勢が経営の基本理念でありました。謙虚に学び、「夢とロマンのある会社」をめざして、先見性に秀でた経営者でありました。痛恨の極みではありませんが、故人の遺志を引き継ぎ、今後とも社業の発展に総力を結集してまいります。

「誠実」を信条とし、コツコツと堅実に歩んでまいりました姿勢が経営の基本理念でありました。謙虚に学び、「夢とロマンのある会社」をめざして、先見性に秀でた経営者でありました。痛恨の極みではありませんが、故人の遺志を引き継ぎ、今後とも社業の発展に総力を結集してまいります。

「誠実」を信条とし、コツコツと堅実に歩んでまいりました姿勢が経営の基本理念でありました。謙虚に学び、「夢とロマンのある会社」をめざして、先見性に秀でた経営者でありました。痛恨の極みではありませんが、故人の遺志を引き継ぎ、今後とも社業の発展に総力を結集してまいります。

「誠実」を信条とし、コツコツと堅実に歩んでまいりました姿勢が経営の基本理念でありました。謙虚に学び、「夢とロマンのある会社」をめざして、先見性に秀でた経営者でありました。痛恨の極みではありませんが、故人の遺志を引き継ぎ、今後とも社業の発展に総力を結集してまいります。

「濟州トゥデイ」が創設した「誇らしい海外同胞賞」の第一回表彰式が二〇〇六年八月九日、濟州市内のクラウンプラザ濟州ホテルで行われ、大賞に康忠男氏（関済協名誉会長）が輝いた。

本協会から洪鍾淳、李正林、韓健三、朴國男、康實、李永哲の六氏が参席した。康忠男氏は七月に逝去したため、相続人の康隆彦氏（富士電線工業株式会社社長）が代理出席し、大賞を受賞した。

本賞には、高チエチョン氏（大阪）、イム・クアンウ氏（ニューヨーク）、高三三氏（東京）がそれぞれ表彰された。

誇らしい海外同胞賞 大賞に康忠男氏 濟州トゥデイ主催





ありし日の梁斗京常任顧問(先頭敬礼する人)

故梁斗京常任顧問に
濟州道文化賞

故梁斗京氏は、二〇〇五年度の濟州道文化賞に輝いたが、二月二三日に行われた授賞式の直前に同氏が他界し、別途に授与された。

故梁斗京氏は北濟州郡出身で、日本に居住し、三〇年以上にわたって故郷の発展に尽くした。

韓国人商工会理事、韓国青年会議所特友会海外地区会長、関西濟州道民協会会長などをつとめあげ、その一方で、濟州道の文化と体育発展に寄与し、全国少年体典の開催にも大きく尽力した。

特に濟州国際コンベンションセンター建設時には、日本地域の後援会長として五億ウォンを投資し、一〇〇〇余名の同胞から七九億ウォンを募金して投資するなど、その功績は甚大であった。

国際自由都市濟州の発展を誰

よりも願ひ、濟州道に住む誰よりも濟州道を愛していた。こうした功勞で國民勳章木蓮章にも輝いている。

在日同胞

高齢者

故郷

訪問団

濟州道庁では、在日同胞福祉施策事業の一環として、六〇歳以上の高齢者を対象にした故郷招待事業を推進しているが、その「第九回在日同胞故郷訪問団」が、九月三〇日〜一〇月三日(三泊四日)の日程で行われた。

大阪からは三名が招待され、関濟協からは康忠成厚生副会長が引率団長として同行した。訪問団一行は道内観光を楽しみ、故郷では親戚、知人と感激の対面をした。なお、東京から五名、仙台一名が参加した。





耽羅文化祭 等を参観 執行部郷土訪問団

耽羅文化祭が開かれたのに伴い、関済協は、一〇月一三日から一五日までの二泊三日の日程で、八二名が参加した。今年はとくに「済州特別自治道」出帆を記念しての参観となった。ラマダブラザ済州ホテルに投宿した参観団は、耽羅文化祭の開会式に参加、道知事主催の晩餐会に出席した。

晩餐会の会場では、済州道に無料で招待されていた在日同胞高齢者故郷訪問団の一行と合流し、和やかに歓談するなど有意義なひとときを過ごした。

一行はまた、ゴルフを楽しむ一方、道内観光や済州のシンボル漢拏山(高さ一九五〇メートル)の登山を楽しみ、頂上の白鹿潭の美しさに感激した。

この訪問に際し、朴國男会長

は、マスコミなどの取材を受け、「故郷済州をどうして忘れることができるでしょうか。そうした気持ちで、毎年、二〇余名の関済協役員が故郷を訪問しているが、今年は特に、済州訪問の年ということで、八〇余名が訪問した。先祖の根を忘れないためだ。一昨年の場合は飛行機一台をチャーターして一八〇余名が訪問した」などと、関済協の郷土訪問事業などについて語った。

ゴルフ会

第二四回関済協ゴルフコンペが二〇〇六年四月二七日、北六甲カントリークラブ東コースで開催された。(写真左)

競技は一八ホールストロークプレイ(Wペリア方式)で行われ、六三名が熱戦を繰り広げた。



関東道民協会と
懇親ゴルフ会

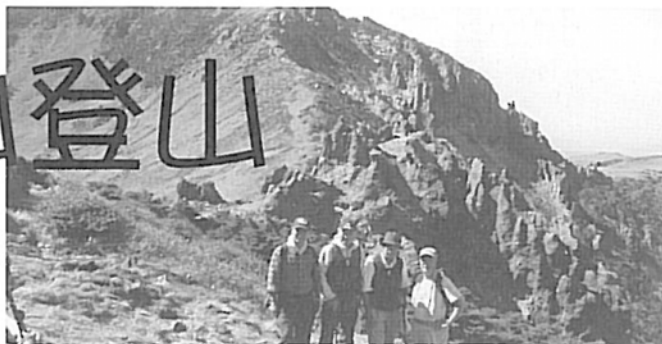


(二〇〇五年二月四日、伊豆グリーンゴルフ場)

漢拏山登山

朴信平

関済協事業部副会長



二〇〇六年一〇月一四日、男
九名、女四名で平均年齢が六二
歳の会員二三名と現地より同行
者五名、計一八名という陣容
で、漢拏山白鹿潭をめざした。

漢拏山登山コースは四つルー
トがあり、頂上まで登山可能な
城板岳コース九・六kmを登り、
観音寺コース八・七kmを下りと
設定した。距離は合計一八・三
km、そこに高さが登山口(海拔
七五〇m)から頂上まで一二〇
〇mある。大阪から神戸方面に
置き換えると西宮を越え、芦屋
まで歩き、その芦屋が六甲山の
倍の頂上にあるようなものだ。
我々は去る九月二三日金剛山の
練習登山をしてかなり自信を深
めてスタート台に立った。

午前六時ホテル出発、六時五
〇分より登山開始した。石の階
段、石の道を淡々と登りはじめ
た。海拔一〇〇〇mから見事な
紅葉が見られ、それは海拔一三
〇〇mまでの間、約一時間堪能
した。五時間経過後、我々はあ
こがれの頂上に立った。白鹿潭
は干上がっていたが、その噴火
口は雄大で爽快感と感激にひ
たつた。はるか麓に西帰浦の町
が望め、三六〇度の展望は登山
の疲れを忘れさせるに充分で
あった。

下りの観音寺コースは、ず
うっと石の階段が続いた。所々
岩を覆いかぶせた板敷きの道が
どれほどほっとさせたことか。

出発後、一時間ほど経って、案
内板に〇・九km経過とあって、
「えっ、まだこんなん」と驚い
た。やがて耽羅溪谷となり、周
りの風景は全山見事な錦絵の紅
葉が我々を圧倒した。登頂した
感動とは又別の感動が加わっ
た。

観音寺キャンプ場の駐車場
(海拔六二〇m)まで高低差一三
〇〇mをひたすら下り続け、五

時間を要して全員無事下山し
た。事前に「漢拏山をなめたら
あかん」と何人かから忠告を頂
いていたが、その通り年配には
こたえた。

この企画にたり、準備段階か
ら本番まで絶大なる御尽力を頂
いた康忠成(谷口)氏ならびに安

泰栄(安田)氏には心より御礼申
し上げます。そして不慮の事故
等に備え終日マイクロボスを待
機させ、またその上に山岳愛好
者の康副社長御夫妻も同行下さ
り、万全の態勢で対処してくれ
たラマダホテルにも心より感謝
御礼申し上げます。

参加者を代表して代弁、「満
足感でいっぱいです」



会務日誌

2006年1月

15日 第13回定期総会（帝国ホテル）

2月

03日 第1回執行部定例会議（事務所）

22日 濟州国際自由都市事業説明会（帝国ホテル）

3月

04日 第2回執行部定例会議（事務所）

4月

21日 第3回執行部定例会議（南海飯店）

21日 第一回理事会（同）

27日 第24回関済協ゴルフコンペ 63名 北六甲

5月

16日 第4回執行部定例会議（事務所）

6月

07日 濟州大学総長来訪

09日 第5回執行部定例会議（事務所）

24日 関東濟州道民協会参席（東京）

30日 役員郷土訪問（道知事就任式参加、濟州道）

7月

07日 第6回執行部定例会議（事務所）

8月

04日 第7回執行部定例会議（事務所）

07日 関東・関西濟州道民協会役員懇親旅行（濟州道）

28日 故、康忠男名誉会長「お別れの会」（リーガロイヤルホテル）

9月

05日 事業部打合せ（納涼会、事務所）

08日 第8回執行部定例会議事務所

25日 在外濟州道民連合会総会（東京）



濟州大が推進 建設資金は募金2～3億円

関済協の朴國男会長らは六月六日、濟州大学校の高忠錫総長と懇談し、「在日本濟州人センター」の建設構想などについて語り合った。

高総長によると、玄界灘を渡り日本に定住した濟州人の開拓史を発掘・保全し、在日同胞三、四世らに祖国の言語と文化を学ぶ教育の場を提供する場を建設するというもので、朴会長らは大きな関心を示した。

在日本濟州人センターは地下一階・地上二階、延べ面積六〇〇〇平方メートル規模で、所要資金は資金二〜三億円、全額募金で充当する計画だ。完成の暁には、郷土濟州道と在日同胞との架け橋の役割を果たすものと期待されている。

在日本濟州人センター建設

今年七月一日から

濟州特別自治道

濟州島全体と馬羅島などの付

属小島嶼を含む濟州道は、二〇〇六年七月一日から、濟州特別自治道となった。外交・国防・司法を除いて高度な自治権を認めるもので、地方分権のモデルとなると期待されている。

一六〇〇年に及ぶ政府の権限

が移譲され、自治警察や教育自治など新しい制度も導入される。また、規制緩和などを通じた観光・教育・医療などの産業育成や国際自由都市の造成なども主体に推進することになった。

濟州地方国土管理庁、濟州環境出張所、光州地方労働庁濟州支庁、濟州地方労働委員会、濟州地方海洋水産庁などが濟州特別自治道に移管された。

古代には耽羅国として自立した存在であったが、百濟、新羅に朝貢して間接的な支配を受けていた。九三八年には高末老が高麗に入朝、服属し、一一〇五年には耽羅国号を廃止、耽羅郡

が設置された。

一三世紀に高麗がモンゴル元に服属すると、濟州島はモンゴルの直轄領となり、大規模な馬牧が設置された。一二九四年には高麗に帰属し、濟州の名称に戻った。李氏朝鮮初期には濟州牧が設置された。

濟州道訪問の年

二〇〇六年は「濟州訪問の年」に選定され、その開幕式が一月一日、濟州市内で約三〇〇〇人の関係者を集めて開催された。昨年は五〇〇万人が濟州道を訪問したが、今年の誘致目標は五四〇万人である。

濟州道の金泰煥知事は「昨年末の韓日航空協定によって、濟州と日本の地方都市を結ぶ路線が増便されるのをはじめ、六月からは第三民航の濟州エアが就航し、七月からは濟州特別自治

〔濟州道略史〕

- 1416年：濟州牧に旌義県大静県を設置
- 1864年：旌義県大静県を郡に昇格、全羅道觀察使の管轄下に置く
- 1880年：再び県に戻す
- 1895年：濟州牧を府に改編し觀察使を置く
- 1906年：牧使を廃止、郡守を置く
- 1910年：旌義郡大静郡を濟州郡に併合
- 1915年：郡制を廃止、島制に改編
- 1946年8月1日：全羅南道から分離し、濟州道制実施（2郡1邑12面）
- 1955年9月1日：濟州邑が濟州市に昇格（1市2郡）
- 1981年7月1日：西帰浦邑と中文面を合併し、西帰浦市に昇格
- 2006年7月1日：濟州特別自治道に改編、濟州市と西帰浦市の2行政市になる

道がスタートする。濟州道はかつてのイメージとは異なり、インセティブ（刺激、報酬の意）の高い地域になった。投資家にとって、最も希望の持てるどころだといえる。特に今年には「訪問の年」と道制実施六〇周年が重なり、イベントが目白押しだ。ぜひ濟州道を訪問してほしい」と強調した。

二〇〇六年の多種多様なイベントも紹介された。菜の花祭りや現代彫刻シンポジウム、島観

光政策フォーラム、レジャーヨット選手権などである。また、北濟州郡の猫山峰観光地でペ・ヨンジュン主演で高句麗・広開土大王の一代記を描いた大河ドラマ「太王四神記」の撮影が行われることや「チャングムの誓い」など、韓流観光にも紹介された。

濟州訪問の年を

飾る韓流エキスポ
11月29日〜来年3月

韓流ブームは日本のみならず、アジア各国に旋風を巻き起

こしているが、その集大成ともいえるべき「韓流エキスポ」が一月二十九日から来年三月一日まで濟州国際コンベンションセンターで開かれる。

主催は、(株)韓流エキスポで、正式名称は「韓流エキスポ・イン・アジア」。韓流の発展とアジア諸国との文化交流の活性化を趣旨としている。今年には「濟州訪問の年」であることから、その総仕上げともいえるべきイベントになると期待されている。

主催者は、韓流ブームをもたらした映画やドラマ、音楽、韓流スター、スポーツスターなどの展示空間を設け、最先端のIT技術を駆使して、韓流ファンに斬新な体験を提供したいとしている。また、ヨン様（妻勇俊）をはじめとする韓流スターらとの出会いの場も設け、多様な特別イベントも企画する。

地元関係者は、「韓流ブームが一時的な現象でないことを、韓流エキスポで体験してもらい、あわせて濟州観光を楽しんでほしい」と韓流エキスポに大いに期待している。

第 6 期 (2006 年度) 役員名単

名誉顧問	申永林 (松岡正子)
常任顧問	金善濟 (田中孝江)
	金芳子 (徳山芳子)
	金泰順 (金沢順子)
顧問	高菊子 (和田菊子)
	姜順子 (西原順子)
相談役	高好子 (呉城好子)
	洪吉子 (高山吉子)
	姜陽子 (高陽子)
	金梅子 (新井梅子)
	洪富子 (新居富子)
直前会長	金君子 (大島君子)
会長	李愛子 (安井愛子)
副会長	李寿子 (梁本寿子)
	金幸代 (高山幸代)
幹事	金滯江 (新井静子)
	高福洙 (水戸福美)
	李仁順 (久松英子)
	韓玉順 (松本順子)
	金光子 (密原夫光子)
	金花子 (高山花子)
監査役	朴勝子 (大山勝子)



新会長に李愛子副会長選出

関濟協婦人会は、二〇〇六年六月二六日、大阪市中央区の大成閣で第六回総会を開催し、二〇〇余名が出席した。
李寿子副会長の司会のもと、金君子会長が挨拶し、議長席について総会成立を宣言した。総括報告、財政報告、監査報告などが行われ、新年度事業計画案、同予算案も異議なく満場一致で採択された。
このあと、役員が任期満了に

伴い、総辞職して、新役員が選出された。新会長には李愛子副会長が満場一致で選出された。挨拶に立った李愛子新会長は「歴代会長ならびに役員みなさまのご努力により、関濟協の婦人会が発展してまいりました。そして、このたび、会長という大役を引き受けることになりましたが、会長の名を汚さぬよう精いっぱい頑張つてまいります」と述べた。

関濟協婦人会は、きたる一月一四日から一六日まで、二泊三日の日程で、郷土濟州道を訪問する。
この郷土訪問は、李愛子会長をはじめとする新執行部の出帆をほじめとする新執行部の出帆であることを記念して実施される。また、七月一日から濟州道が特別自治道になったお祝いも兼ねている。
宿泊先は、ラマタプラザ濟州ホテルで、参加費用は四九、八〇〇円。

11月に郷土 濟州を訪問



会務報告

2005年7月～2006年6月

2005年

- 7月22日 役員会(京都骨船、とちぎく)
- 9月28日 会長団会議(旅行打合せ、事務所)
- 10月25日 役員会(ニューオオタニ、TAIKANEN)
- 11月15日 会長団会議(旅行打合せ、事務所)
- 11月23～24日 懇親旅行(日光～東京浅草)

2006年

- 2月15日 役員会(南海飯店)

- 4月10日 会長団打合せ(事務所)
- 4月14日 野遊会(お花見、近江八幡～長浜)
- 4月18日 顧問団会議(都ホテル)
- 5月9日 役員会(銀座アスター)
- 6月9～10日 役員懇親旅行、懇親ゴルフ会(有馬・月光園鴻臚館、北大平C.C)
- 6月14日 会計監査(事務所)
- 6月19日 会長団打合せ(事務所)
- 6月26日 第6回総会(大成閣)*新役員選出
(11月14～16日 濟州道訪問旅行)



ゴルフ会

青年会だより

あいさつ

関西済州道民協会

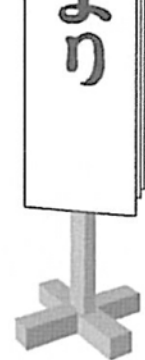
青年会会長 高東林

ヨロブン、アンニヨンハシム
ニカ!

私は、関西済州道民協会青年
会第一四代会長の高東林です。

この度、関西済州道民協会の
機関紙発刊にあたり、一言ご挨拶
をさせていただきます。

当青年会は、親団体を関西済



州道民協会とし、韓国済州道に
先祖を持つ在日コリアンの二〇
歳から四三歳までの青年たちで
構成されています。現在、六一
名が幹事登録しています。

年間の活動といたしまして、
スポーツ大会や講師を招いての
勉強会、夏には野遊会等を毎年
開催するほか、故郷である済州
道への公式訪問、忘年会・定期
総会などがあり、会員各人の自

己研鑽および会員相互・会員家
族との親睦や交流を目的とした
活動が多数あります。

私自身、入会し早六年経過し
ますが、この青年会を通して多
くのことを学びました。特に、
道民協会やOBの先輩方から、
人生や仕事上の悩みなどを本當
に親身になって相談に乗って
いただき、私自身の人生にとつて
どれほどプラスになったかわか
りません。

私は、この会が本當にすばら
しいと感じるところは、チェ
ジュ出身者の集まりという共通
項だけで、そのたった一つの共

通項だけで、本當の親兄弟と思
える存在が何十人、何百人と出
会えるところです。

協会には我々の親父と同世代
の尊敬できる大先輩方がおら
れ、また、OB倶楽部には私た
ちの頼もしい兄貴たちがおら
れ、青年会には、時には喧嘩も
しますが、いつも本音で語り合
える兄弟がたくさんいます。

仕事や家庭がうまくいって
いる者、そうでない者もいます
が、会活動から何かしらヒント
を得て、様々な問題をクリアし
てもらえたらと日々願っており
ます。

私は、今後もわが青年会及び
道民協会が益々発展するべく努
力奮闘していく所存でありま
す。今後ともよろしく願いま
します。

テダニ カムサハムニダ。

総務部

青年会の総務部は主に以下の
仕事を担当しております。

- ① 毎月一回の定例幹事会
- ② 各部の連携を保つこと
- ③ 名簿の管理
- ④ 総会

いつも心がけている事は、青
年会の渾音が円滑に行われるよ

うにすることです。どの組織で
も同じでしょうが、総務部とい
う部署は縁の下の力持ちになら
なければいけないと思っており
ます。

総務部として一番大事は事業
を総会です。会の一年を締めく
くる大事な事業であり、対外的
に青年会の力を披露する大事な
事業だと思っています。その分
プレッシャーもあるし、準備も
大変です。しかし、各部、各会
員が協力してくれるので、毎年
無事に総会を行うことができま
す。

このような大事な事業をやり
遂げた時に、一番ほつとする
し、総務部をやつて良かったと
感じる瞬間です。今年の総会も
この調子でがんばって乗り切り
ます。

組織部

組織部は主に勉強会を事業と
して行います。年に二回勉強会
を予定し、六月度の勉強会では
ホスピタリティコンサルタント

の葛西久仁子先生を講師とし
て、「ビジネスマナーとマネー
ジメント改革」について講演を
して頂きました。また一三年度

の勉強会では大阪市立大学大学
院経済学研究科教授の朴一先生
に「在日同胞のルーツと現在に
至るまで」について講演して頂
きます。

テーマを決めるにあたって韓
国、済州、在日に関する事にす
るのか、それ以外の事にするか
で勉強会の方向がまったく違
ものになるので、今回違うテ
マの勉強会ができるので大変よ
かったと思います。

事業部

関西済州道民協会青年会の事
業部は、毎年母国訪問事業を担
当しています。

本年度の母国訪問事業は、今
年が「済州訪問の年」であり、
また、済州道から「済州特別自
治道」になった年とのことで、
親団体の関西済州道民協会と同
じ日程で母国訪問し、耽羅文化
祭にも参加することになりました。

また、昨年姉妹結縁を結んだ
済州特別自治道連合青年会との
第二回目の合同事業として、西
帰浦ワールドカップ競技場での
親善サッカーをすることに決め
たことにより、多くの方々に参加

加していただかなければならぬ
四・三事件の内容

昨年度と同様に事業費の一部
を参加費に当て、会員の費用負
担を出来るだけ抑えて、多くの
方々に参加していただくこと
で、参加者を募りました。当初
予定していた動員目標の二〇人
に対し、一八人の方々に参加し
ていただき、目標には達しませ
んでしたが、多くの方々に参加
していただき、大人数で母国訪
問できたことを担当部としても
非常にありがたく思っています。

濟州に到着し、突然の予定変
更などもありましたが、最初に
濟州大学を訪問し、濟州大学の
総長を交えて、二四年間続いて
いる図書基金寄贈式を行い、そ
の後道庁を訪問し、副知事に福
祉基金を寄贈し、初日の公式事
業は滞りなく執り行なわれ、夜
には協会の方々と一緒に耽羅文
化祭に参加しました。また、耽
羅文化祭の開会式終了後に、道
庁主催の晩餐会に参加するなど
時間に追われる日程でした。

二日目は、濟州市内の総合競
技場で『少年少女家長』と合流
し、まず、四・三平和公園を訪
問しました。そこで、四・三事

件研究員の方から

の説明を聞き、地
域ごとに区切って
慰霊碑が収められ
ている建物に入
り、自分たちの本
籍地を探し、慰霊
碑を確認しまし
た。

その後、今年の
九月にオープンし
た、濟州国際平和
センターを訪問
し、昼食後に西帰
浦ワールドカップ
競技場で親善サッ
カーを行いました
た。

競技場の芝生の
状態が悪く、メン
テナンス中とのこ
ともあり、一〇分
ハーフで、試合を
初、一〇分ハーフ
と聞いていたの
ですが、後半二
対一で私たちが
が勝っていたと
なかな終わらな
く、五分ほど試
合したような気
がします。結果
は、二対一の引
き分けでした。
試合終了後、連
合青年会を通じ
て『少年少女家
長』達に福祉基



二日間、時間に終わる日程
であったため、三日目の午前中
を自由時間にし、お墓参りをし
たり、日本で待っている家族へ
のお土産などを買ったりする時
間としました。

母国訪問期間中に一度も参加
者だけで食事をしていなかった
ので、昼食は参加者全員で
トエーヅカルビを食べました。
今回の母国訪問で、連合青年
会との関係が一層友好的にな
り、金光龍直前会長が道を作
り、高東林会長がレールを引き
ました。

厚生部

厚生部は会員相互の親睦、扶
助、連帯を図り、OBクラブと
の交流事業を等、主には対内事
業を担当し行う部署です。
今期は、七月度月例野遊会、
一二月度月例忘年会の二つの事
業を行うことになっています。

野遊会では会員相互の親睦の
みならず、家族間の交流も深め
ていけるようにいろいろと模索
しながら行い、無事成功裏に終
えることができました。
忘年会においても、趣向を凝
らして会員、OBに喜んでもら

広報部

広報部は、青年会活動の広報
宣伝を担当しています。
毎月一度開かれる幹事会や勉
強会、母国取組等すべての活動
を記録し、また、会活動に関す
る資料や、広報結の作成を通
じ、新入会員獲得の企画立案な
どを担当しています。
今期は、四月に新入会員の獲
得・会員相互間の親睦を深める
ことをテーマにスポーツ大会を
開催しました。新入会員候補者
を含め、約四〇名が参加し、日
頃の運動不足を解消する良い機
会になったと思います。
また、現在、青年会のホーム
ページを刷新中です。ホーム
ページを一目見れば、青年会の
趣旨や活動内容が分かる内容に
しようと考えております。ホー
ムページを見たという方から入
会の申込みをもらえる様な楽し
いページにしたいと思っていま
す。年内には公開する予定で
すので、ご期待ください。



関済協会議室



企画担当副会長 朴晶禧

関済協に対する思いを一口で述べるという事は難しい。いま、関済協の人は金持ちばかり

——関済協に対する思い、郷土に対する思いを。

財政担当副会長 吳基博

日本で生まれた在日二世で、関済協に入会して、一〇年になつていないが、済州道出身ということ、郷土に対する思い

は普通ではない。両親が済州道から非常に苦しい思いで日本に渡ってきて、なおかつ日本でもたいへん苦しい思いをしたというのを聞いている。両親が亡くなつて、二、三十年経つが、アボジ、オモニの思いを、私がいからかでも叶えられたらと思いだ。言い換えると、アボジ、オモニに代わつて、済州道に対して協力を惜しまないという気持ちで、関済協の一員として頑張っている次第だ。

だという話も出ており、確かにサラリーマンの人はあんまりない。役員の方は、寄付も出来る富裕層と云つてよい。済州道出身者でも十人十色で、それぞれに違う考えを持っているから、こういう組織は本来、少数の人が集まつて親睦を図ることに意義があると思う。四団体が統合して一本になり、関済協ができた以上、この組織しかないということだから、なんとか残していかなければならないと思うし、我々も後輩に対して残す義務があると思う。ほとんどの方はここ(日本)で生まれた人だから、「うさぎ追ひしかの山、こぶな釣りしかの川」という歌

会長団座談会

魅力ある関済協



があるが、その故郷という歌を歌うとき、濟州道の景色は思い浮かばない。このへん(生野区あたり)の景色しか思い浮かばない。濟州道は、実際には母の故郷であり、父の故郷だし、いま国際結婚が八割、九割という時代に、その子供たちの故郷はどこになるだろうか。もうここ(日本)しかないと言いたいよう

がない。濟州道の人ほとんど出稼ぎで日本にきているということだが、父は、曾祖父が亡くなったとたんに学校へも行かせられなくなり、一歳で日本にきて、働いた。二〇歳前後になつて、歌うのは日本の軍歌だつたし、家には飛行服があつた。アボジ自身は、実際そうではなかつたかも知れないが、私たち子供には、いつも、非常に楽しい青春時代を送つたと話していた。母は、悔しいことが一つあると。それは、もう少し遅く生まれていたら学校へ行けていたということだつた。濟州道は特に女性に対する差別がきつ

民族心、郷土愛が希薄化し、関済協組織の今後が憂慮されるな、会長団による「魅力ある関済協」についての座談会を開催した。話は、このほど出帆した濟州自治道の期待にも及んだ。なお、朴國男会長は前日に体調を崩し、欠席となつた。

(二〇月二一日、関済協事務所)

出席者

- | | |
|---------|-----|
| 財政担当副会長 | 吳基博 |
| 企画担当副会長 | 朴晶禧 |
| 総務担当副会長 | 高英寛 |
| 渉外担当副会長 | 康実 |
| 事業担当副会長 | 朴信平 |

関済協は出会いの場 故郷は遠くにありて



総務担当副会長 高英寛
在日の中の濟州道出身者として、関済協は、出会いの場という位置づけだ。先輩もたくさんいるし、その先輩たちから多くものを学ぶことができ、友人も多くできる。私は三〇の年を聞いてはじめて濟州へ行った。私自身、昔の本当の苦しさというものを、身をもって知ることはないが、一世の方々の濟州に対する思いというものは、故郷の村の会などを通じて寄付をしたりしているのを見ると、私たちが二世とは違う思いが強くあるんだと思つた。父は一六歳のときにこつち(日本)へ来ていて、母は亡くなるときに初めて、自分の弟が学校へ行っている、その姿を見て、ものすごくうらやましかつたと話していた。その母の話聞いて、濟州道の女性というのは本当に厳しい生活をしたんだなと思つた。父も濟州と日本のハザマでいろいろと苦労したと思うが、濟州の先輩がこちら(日本)で生活して、面白い人生を歩んだということも事実だろうと思う。濟州にいたらそんな生活はできなかっただろうと思う。こちらで金儲け出来なつた人でも、帰るときは見栄をはつて、それこそなけなしの金をもつて、なけなしの物をもつて、みんな濟州へ帰つたし、足を運んだ。そんな一世の思いは、二世には多分ないだろうし、そんなマネはできないだろうと思う。だから私たちが二世というのは、親を通じてとか、先輩の話を通じてとか、そういう話の中から濟州を覗いていく、あるいは郷土を見ていくということを感じた。忘れられないことが一つある。三〇の年で初めて濟州に行つたとき、冷たい満天の夜空だつたが、目が痛くなるほどの星の輝きに感激した。日本では見られなかつた、その星の美しさを故郷で実感したことは、今でも強烈な印象として残っている。

渉外担当副会長 康実
小学一年のとき終戦になつ



際は「故郷は遠きにありて思うもの」という気持ちになつてい

目ができればと思つてい

いう意識で訪問する気にはとて

施設も整っている。

関濟協は、故郷を同じくした

たのかという怒つた祖母の顔が

帰郷ということだろうな。濟

近くに親戚はみな日本にいる。濟

していたように思う。私たち二

ものだから、いつも笑つてしま

○を連れて行く。日本人を案内

以上は連れて濟州道に帰郷して

て、故郷が同じであるという仲

道のすばらしさと訪問につい

で、海外気分が味わえ、ゴルフ

は行くと用事をしなければなら

ばと思ふ。そして、次の世代に

道のすばらしさと訪問につい

条件がいい。大阪から二時間

は行くと用事をしなければなら

と、親がしてきたことを見

道のすばらしさと訪問につい

で、海外気分が味わえ、ゴルフ

は行くと用事をしなければなら

と、親がしてきたことを見

道のすばらしさと訪問につい

で、海外気分が味わえ、ゴルフ

は行くと用事をしなければなら

濟州訪問は観光の気持ちになれずなぜか、しんみり

朴信平

帰郷という感じがほとんどだ

高英寛

濟州道を、故郷、故郷という

で、海外気分が味わえ、ゴルフ

は行くと用事をしなければなら

投資誘致は減免が効果的 自治道でどう変わるのか

朴晶禧

濟州の星が美しいといったが、六甲山の星もきれいだった。星がほんとうに取れるような感じだった。「ふるさととは遠きありて思うもの」ということを実感する。私が小学校のときに父は帰郷した。故郷の土を舐め、そして海水を飲んで、これが濟州やと嘆息し、二十万円を寄付して、一週間して帰ってきた。私ら子供にはそのことを一言も言わなかったが、私は向こう(濟州道)で聞いた。

なつていくと思う。

康実

私の場合、皆さんとちよつと違うのは、学校を向こうで卒業して、四・三事件とかを濟州道が一番悪い時期を向こうで過ごしたことだ。そういうことで、ものすごく愛着があるし、濟州道をよりよくするために協力を惜しむものではない。今もアイエヌジー、進行中だ。だけど、一つ寂しいのは、我々が片思いしているような感じで、向こう(濟州)の人は、今はみな揃っている、在日、なんぼのもんやという態度がミエミエだ。濟州道の三大精神、忍耐する、頑張る、助け合う、ということ、頑張ってきたから、こんにちの在日がある。今まで、在日が濟州道にしたものは莫大なものだ。道路、蜜柑、電気、と。道庁の人らはもう一度、在日の貢献度を勉強してほしいと思う。関済

を勉強してほしいと思う。関済協でも飛行機一台をチャーターして濟州道を訪問した。一月には村の婦人会だけを連れて行く。自動車を一台売ったら純利益が一〇ウォンというが、我々が訪問したら一人一〇〇万ウォンは使う。そういう面で貢献していると思う。次の世代になると、生活基盤があるわけでもなし、親戚縁者がいっぱいいるわけでもないから、日本に帰化したりして、濟州道との関係は疎遠になっていくと思う。

朴晶禧

植民地で成功したのは、唯一香港だけ、つまり、支配国のイギリスが唯一香港で儲けられたということ、ポール・ケネディーという人が『大國の興亡』という本に書いてある。香港のように、ある程度、自由に規制をなくさないといかないことではないか。まず、税金を少なくすることが一番大きな実効だと思う。きてくれ、きてくれではなく、行きたい島、投資したい島にしないと、どないしようもない。

一つとつてもそうだ。財政問題あり、政治問題あり、いろいろな問題が噴出してくると思うが、そうしたいいろいろな問題をクリアして行く必要があるだろう。

高英寛

濟州道は、一番借金の多い道でしょう。

朴信平

スイスの場合は安心してカネを持っていけるが、韓国の場合、北朝鮮と休戦状態だから、安心してカネをもっていける国

高英寛

儲けたふりをして、なければしものをもつて、そしてブタを何頭つぶしたとかの自慢話が飛び出すのもよく聞いた。若い世代が多くなると、知っている親戚も少なくなるし、知っている人もほとんどいなくなるから、濟州道を訪問することも少なく

——濟州道特別自治道と国際自由都市開発に対する期待と関

濟協の役割について。

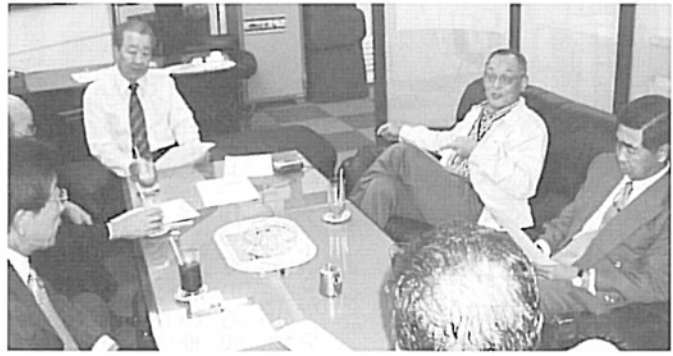
吳基博

シンガポールとか香港はもう一つの国のような状態で、濟州道は香港をめざすべきだと思

康実

自治道は今年の七月からで、生まれたばかりだ。「犬が生まれたら七日経ったら目が見える」と言われるように、今はまだ形も何もなく、内容はオールナッシングだ。北朝鮮の核実験以後に有事になれば、自治道なんて夢物語になってしまう。南濟州に海軍軍港をつくる案に、賛成が半分、反対が半分で、反対の理由は海軍基地ができるということだ。小さな軍港の問題





魅力ある関済協組織は 引き継ぐ者が考える！

し、青年会組織はそういう自己研鑽の場でもあってほしいと願っている。ただ集まって飲むというだけの集まりになってしまふと、新しい者は入ってこられないのではないか。

朴晶禧

い。自治道ということがピンと来ていない。KALは国に返したと聞いている。税金を安くしようが、なにしようが、高い土地に行つて、投資資金を回収するのに、孫の代にならないとブラスにならないと試算されている。

あった。今は残っている会と消滅した会があるが、相互扶助という面では今の関済協よりも中身が濃い活動をしていたように思う。自分たちの子供には勧めたくないように思うが、それをヒントにすれば、いいと思う。

高英寛
新聞報道によれば、一パーセントの人が、民間の土地の五八パーセントを所有しているということだ。

康実
私の村は、私が一〇年間、会長をしているが、今でも六〇世代、春と秋には運動会をしている。ある集まりで、ソウルの済州道出身者の会は五二年の伝統があると自慢していたから、私は、大阪は一〇〇年の歴史だけど、と返すと、目を白黒して二の句がなかったという笑い話もある。

引き継いでもらう若い層の数が決定的に少ない。それをいかに予備軍をふやすかが緊要の課題だ。半強制的にでも加入させるということを考えなければならぬと思う。だから、私の子供にも関済協へ加入させているが、済州道訪問を勧めてみるも、用事にかこつけて行きたがらない。ということとは、若い世代が魅力を感じる済州道ではないということにもなるが、今後の関済協を担うであろう若い世代を無料で済州道を訪問させるような大胆な企画があってもいいのではないかと思う。

関済協を残そうと思ったら、一つの方法として、特殊な会、つまり、入会者を限定するようなそういう会でないとなかなか難しい。関済協を支えるために、何か大きな花火を打ち上げることも大切だと思う。一つの案として、子弟に対して奨学金を支給したらどうかと思う。関済協の奨学金を受けた学生は、将来の関済協を支える人材になつてくれると期待されるからだ。

高英寛

関済協にサラリーマンがいな

いという話があったが、今の青年は二世であっても二世であつても、感覚的にはサラリーマン

だと思う。私たちはほとんどが企業のオーナーだから、ここ

に、若い世代と私たちの間にギャップがある。オーナー的な

感覚でものを考えるのと、サラ

の状態ではない。だから、金融とか物流という関係のもの、特に金融関係なんかは投資するのを渋るのではないか。

吳基博

自治道というものが、よくわかっていない。啓蒙活動が必要だ。KALなどが大量の土地を保有しているという話もあるが。

康実

この問題は非常にむずかし

若い世代が魅力を感じる
関済協とは。

朴晶禧

一〇歳頃の記憶だから、今生

きていたら、相当の年齢になるが、そういう人がやっていた済州道出身の村の会もいろいろと

吳基博

関済協のような組織は、意識して、子供たちに継承していく会だと思っている。が、組織を

朴信平

若い世代の故郷意識はまったく薄らいできている。私たちは出合いの場であったが、そうした出合いの場を維持していこうと思うと、意識レベルをもう少し高める必要があるように思う

リーマン感覚でものを考えるのと違う。ゴルフでもサラリーマン感覚の最近の若い人はやらなくなってきた。時代のズレというようなものを感じる。

康実

今の若い人は我々の生きざまをみているから、ある程度のプラスアルファ、魅力のあるものを添えていけば、集まってくるのではない。そういう行事をするには、やはり財政が問題になる。ニンジンをつらげない馬が走らないように、若い世代を走らせるには財政も要するということだ。

朴信平

若い世代を無料で済州道に連れて行くというような案は、婦人会がしていたことと同じで、援助資金が多ければ多いほど安くいけるという感覚だけで、行ったあとの歩留まりは、決していいとは思わない。むしろ、財政的にもレベルの高い会をつくる方が残っていくのではない。たとえば入会金五〇万円とか一〇〇万円とか、あるいは会費が高いとか、そういう会で、内容

がいいとか、自分が高められたとか、あるいはいい勉強になったとか、そういうことに若い人たちは魅力を感じると思う。

高英寛

済州大学の総長がきて、在日の学生を入れるから、大いに寄付をして下さいというふうな話もあったし、無料招待というのも無理な話だと思う。若い人がどうしたら集まるかという問題は、私たちが考える問題ではないし、私たちが考えても答え出ない。若い人たちが考える問題だ。カネのかかることは、若い世代と私たちが共同で、同じ舞台で考え、実行していくことの方が現実的だと思う。

若い世代の故郷意識
が希薄になっている
自分を高める場に！

済州特別自治道とは

—— 李永哲 ——



済州道が離島であるという特殊性が考慮されて、二〇〇五年

一月、特別自治道と認める「済州特別自治道設置及び国際自由都市造成のための特別法」などの関連法案が閣議決定され、二〇〇六年二月に国会で可決されました。

これに伴って、郷土済州道は、二〇〇六年七月一日から、外交・国防・司法を除いてアメリカの州のような高度な自治権を付与された特別自治道に移行しました。

市・郡といった基礎自治体の再編も検討され、住民投票によって、済州市と北済州郡を済州市に、西帰浦市と南済州郡を西帰浦市にするということが決定されました。余談になりますが、この住民投票には永住権を持つ外国人にも投票権が与えられ、注目されました。

済州道が特別自治道になりま

すと、次のようなことが予想されます。

約三五〇種の中央政府事務が委譲され、法律案提出申請権が与えられて、自治警察の設置、教育監および教育委員直接選挙制によって、教育自治がもたらされます。また、地方国土管理庁などの七つの特別地方行政機関が移管され、外国人の公職採用、監査委員会の設置、住民リコール制および人事聴聞会などの新しい制度が実施されます。

さらに、地方税を特別自治道税に転換し、減免調整権を拡大し、地方債発行権限などによって財政自主権が強化されます。このほかにも、農水産業関連の中央権限が委譲される予定であり、こうした自治権によって、済州道が、競争力のある国際自由都市として発展すると期待されています。

特別自治道としてスタート 国際自由都市へ拍車かかる

北東アジアの

物流、金融、観光の

中心を目指し

3 大事業を積極推進

濟州道は二〇〇六年七月から国防と外交を除く自治権が特別に与えられる「特別自治道」としてスタートした。国際自由都市として一大飛躍を期すプロジェクトに拍車がかかるものと期待されている。国際自由都市とは、人、物、資本の自由な移動と共に、企業の経営活動を最大限に保障する都市で、シンガポールや香港をしのぐ意気込みで、二〇一〇年を完了目標にしている。

プロジェクトの推進主体は、型住居団地の造成で、今年度予定「濟州国際自由都市開発センター」(JDC、秦哲薫理事長)で、濟州国際自由都市特別法に資を積極的に誘致し、米国や香港などの企業七社が投資を検討している。

交通部傘下の特殊法人として発足し、総合窓口の役割を果たす。

現在推進している3大プロジェクトは、先端科学技術団地、神話・歴史公園、リゾート

東部の城山邑に建設する海洋観光団地、(株)エニスが濟州東部の旧左邑金寧里一三五万坪に開発する猫山峰観光団地(一兆三〇〇億ウォン)、韓国民俗村系列の(株)ザ・ウォンが濟州市朝天邑に開発するビーチヒルスリゾート(二〇一万坪・約四〇〇億ウォン)などである。

また、温泉開発、コンベンションアンカーホテル、ポロ乗馬リゾートの三事業(約三〇〇億ウォン)に外国資本が参入する公算が高く、神話・歴史公園などに一兆三五〇〇億ウォンの投資誘致も進行中だ。

さらに、日本の医療法人が西帰浦市安徳面の温泉を買収し、予防専門クリニックセンターの設立を推進している。

さらに、自治道に移行したことに伴い、農協中央会や国民銀行、セマウル金庫連合会の研修院、警察研修院など首都圏にある公益企業などの濟州移転も活発だ。

このような国内外の投資誘致に対して、土地賃貸料や税金減免などの支援策を講じ、民間投資は一〇兆ウォンを突破したといわれている。一九七六年の中文観光団地開発から始まった濟

州観光開発の集大成だと関係者は意気込む。

しかし、濟州道が核心産業として育成する教育分野への投資はやや低調だ。また、自治警察団が全国に先駆けて設立されたが、政府が予算支援に難色を示し、財政圧迫要因となっている。

このように、政府支援予算が大幅に削減されることも予想され、その場合は財政不足が生じると懸念されている。それに、米国とのFTA締結に伴うミカン産業への打撃や海軍基地問題など解決すべき大小の課題も山積している。

濟州国際自由都市

開発センターが

推進する五つの

プロジェクト

①先端科学技術団地(濟州市我羅洞一帯に造成される国家産業団地)で、濟州道の多様な生物資源とクリーンな自然を活用し、情報通信、バイオ、環境テクノロジーなど先端産業団地を

造成する。二〇一一年に竣工予定。入住企業には免税措置がある。

②リゾート型住居団地（西帰浦市親来（イエレ）洞に住居・レジャー・医療機能など世界的な複合リゾート型住居団地を造成する事業で、香港のアジアランド社とMOAを結んで推進している。二〇〇九年に竣工予定。

③神話・歴史公園の造成（南九州郡安徳面一円に、神話・歴史テーマパーク、先端映像マルチメディアのテーマパーク、世界各国の食文化とエンターテインメントを調和させた体験パークの三つに分けて造成する。米国や香港の企業が進出を検討。二〇一一年に竣工予定。

④ショッピング・アウトレツト開発（北九州郡一円に、中国や日本などの海外観光客や内国人観光客のニーズに合わせて有名ブランド品の世界的なショッピング名所に造成。二〇一一年に竣工予定。

⑤西帰浦観光光美港開発（九州道南部に位置する西帰浦港を国際的な海洋観光・レジャー名所にするため、周辺の美しい景観を活用して観光光美港に再開発する。二〇一一年に竣工予定。

後続プロジェクト

◇ウエルビーイング・テーマタウン
大自然に恵まれた九州道のクリーンな環境を活用、健康とリハビリをテーマとする滞在型テーマタウン造成する。健康管理施設（健康検診、リハビリ・代替医療、健康食品センター、ウエルリースアカデミーなど）、休養施設（リゾート型スパセンター、宿泊施設など）、レジャー施設（乗馬場、九州生態公園、ウエルリース・フードコートなど）を具備する。

◇国際文化レジャー団地
九州道とアジアの文化を体験できるファミリー向け体験型テーマリゾート造成する。国別の文化村、語学・ゴルフアカデミー、子供テーマパークなど。

◇海洋観光団地
島という九州の地理的条件と海洋資源を最大限に活用し、スポーツや生態などをテーマとする海洋観光施設を建設する。海洋スポーツ・マリナー施設、クルーズ、海洋公園、水族館など。

◇レジャースポーツ観光団地
国内外スポーツ団体の合宿先と各種レジャー・スポーツ同好

会の集結地を目指し、休養観光も楽しめるレジャースポーツ観光団地に造成する。選手合宿所、リハビリセンター、レジャースポーツ公園など。

濟州道の歴史 郷校

濟州道には三つの郷校があった。濟州郷校、大静郷校、旌義郷校である。

◇濟州郷校（濟州市）

濟州市竜潭洞に位置する濟州道指定有形文化財第二号である。濟州道では最初の設置された郷校で、太祖元年の一三九二年に設立された。

いく度かの改築と移転を経て、順祖二十七年の一八二七年に今の場所に定められた。巨松三〇数株が、濟州郷校の歴史の古さを物語っている。

現在、大成殿、明倫堂、東齊、西齊、神三門、明倫門、東末門、東正門などがあり、濟州にある三つの郷校のうちで最も保存状態が良いとされている。

大成殿は、数回の増改築を重ね、一九九三年に南濟州郡が大成殿を修造した。

大成殿には孔子を中心に五聖、孔門の一〇哲、宋朝の六賢、朝鮮一八賢の位牌が奉安されており、毎年、春と秋に祭祀が行なれる。

◇大静郷校（南濟州郡安徳面）

濟州道有形文化財第四号である。太宗八年の一四〇八年に建てられた。当初は北城内にあったが、東門外に移され、再び西城内に移った。孝宗四一年の一六五三年に牧師李元鎮が現在の場所に移建し、今日に至っている。

濟州道指定有形文化財第五号である。世宗五年の一四二三年に立てられた。太宗一六年の四一六年、漢拏山の北側は濟州牧、漢拏山の南は二分されて西が大静県、東が旌義県だった。一九一四年まで続いた。

長いあいだ旌義県の首都だった城邑民俗村には、濟州道指定民俗資料第二号の石ハルバンが一二体あるが、どうして形と名称が異なるのか、そのはつきりした理由はわからない。また、学術的価値の高い民謡も残っているという。

在外道民施策案内

在外済州道民のために、民願処理業務等を担当する「在外済州道民相談室」が済州道庁内に設置され運営されております。

在日済州道民福祉施策

◎在日同胞故郷訪問団事業

- 毎年耽羅文化祭の時(10月初旬)
- 対象：本籍地が済州道籍の方
※朝鮮籍可
一度も済州道を訪問していない方
数十年故郷を訪問していない方
行動に支障のない60歳以上の方
- 主催：済州道庁

◎在外夏季郷土学校入校運営

- 毎年7月末から8月初旬(6泊7日)
- 対象：在外済州道民子女(大学生)
※朝鮮籍可
- 主催：済州道地方公務員教育院
済州大学校

◎戸籍謄本(抄本)無料発給

- 郵便・FAXまたは直接来訪相談
※関西済州道民協会
- 所要経費は戸籍謄抄本発給代無料



本協会専務理事
李永哲

本協会事務所でもそれらの処理業務を代行しておりますので、お気軽にご相談、又はお問い合わせください。

★各種翻訳を受け承ります。
(戸籍謄抄本 等)

【お問い合わせ】

済州道庁政策企画官室

済州市蓮洞312-1
(在外道民担当室)
TEL 064-710-2294
FAX 064-710-2299

関西済州道民協会

〒537-0023
大阪市東成区玉津1-4-22
TEL 06-6973-3700
FAX 06-6973-6080

編集後記



企画副会長 朴晶禧



企画部長 康武良



企画部長 韓在邦

関西経済道民協会の一〇周年総会から三回目となる第一三回総会を今年はじめに開催しましたが、あつという間に今年も残り少なくなりしました。「歳月人を持たず」を実感します。

最近「金正日の核実験」でかますばしい日々が続いています。「在日」の私たちにとって実に迷惑な話であり、金正日がい日も早く政権の座から消えることを祈るのみであります。

金正日が核を持つという意思は、核超大国のアメリカなどに抗する一つの手段であり、国家防衛のためには不可避であると

いう論調も見受けられますが、金正日の意思が正常な基盤から出ているものであれば、同調する余地は充分にあります。

しかし、拉致を行い、偽ドルを発行し、麻薬を密売し、拳銃を密輸するという犯罪行為を国家としてやっていると見ると、決して許されるものではありません。

その反動として、多くの民が飢餓に苦しみ、産業すべてが廃絶しているという現実、国家として存続する価値はないし、為政者である金正日は即刻辞任して、その非を懺悔すべきではないでしょうか。

そうした金正日を推戴する勢力がいまなお存在していることは、異常というほかありません。一刻も早い正常化を望むばかりです。

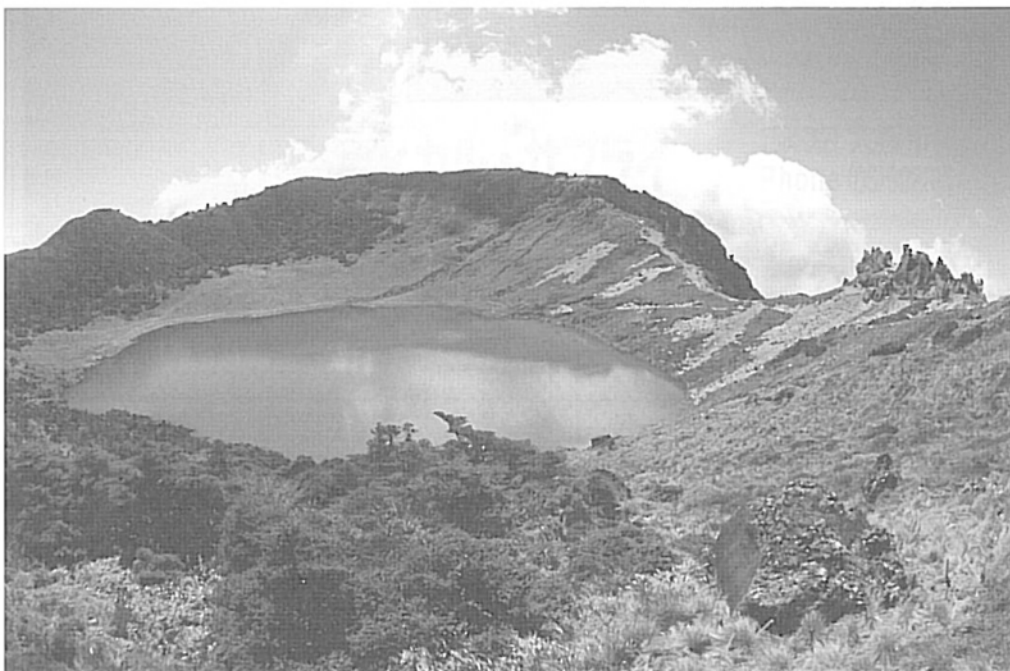
今年「濟州訪問の年」でありました。また、七月一日から濟州道は特別自治道として出帆しました。この記念すべき年に、関済協はもちろんのこと、役員、会員の皆さまも公私にわたって、郷土濟州道を訪問されたことと思います。

『関済協』を二年ぶりに発刊しましたが、会長団による座談会を特集として組みました。テーマは「魅力ある関済協」です。さらに、国際自由都市としての濟州道、特別自治道としての濟州道などを特集しました。郷土濟州道の未来像を汲みとっていただければ幸いです。

なお、本誌の発刊にあたりましては、李永哲専務理事ならびに関係者の方々の労苦にあたら

めて感謝申し上げます。

企画副会長 朴晶禧
 企画部長 韓在邦
 企画部長 康武良



白鹿潭

プレイバック 10周年

記念植樹

関濟協は二〇〇四年
一〇月、創立一〇周年
を記念して、大韓航空
機をチャーターし、二
泊三日の日程で、一七
五名が郷土を訪問し、
その際、中文観光団地
内の濟州国際コンベン
ションセンターでの記
念植樹をした。



関西濟州道民協会 会報

関 濟 協 第11号

2006年11月20日 発行

発行所 関西濟州道民協会

会長 朴 國 男

企画編集 関西濟州道民協会 企画部

関西濟州道民協会

〒537-0023

大阪市東成区玉津

1-4-22

TEL 06-6973-3700 (代)

FAX 06-6973-6080